

厚生労働行政推進調査事業費補助金
厚生労働科学特別研究事業

セルフメディケーション税制による医療適正化効果についての研究

令和3年度 総括研究報告書

研究代表者 五十嵐 中

令和3（2022）年 5月

目 次

I. 総括研究報告 セルフメディケーション税制による医療費適正化効果に関する研究 五十嵐 中	----- 1
II. 研究成果の刊行に関する一覧表	----- 8

厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）

総合・分担 研究報告書（令和3年度）

セルフメディケーション税制による医療費適正化効果に関する研究

研究代表者：

五十嵐中

横浜市立大学医学群健康社会医学ユニット 准教授

東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学 客員准教授

研究分担者：

和田一郎 花園大学社会福祉学部 教授

後藤励 慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授

井深陽子 慶應義塾大学経済学部 教授

別所俊一郎 東京大学大学院経済学研究科 准教授

研究協力者

吉原浩之 東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学 特任研究員

廣川暢幸 日本 OTC 医薬品協会

A) 研究の背景と目的

セルフメディケーション税制については、制度の5年間延長・対象医薬品の範囲見直し（領域を指定した上でのスイッチ OTC 医薬品以外への拡大）を行うとともに、医療費適正化効果について、適切な指標を設定した上で検証を行うことが求められている。

今年度の研究では、先行研究を参照しつつ i) 商用レセプトデータベース・薬事工業生産動態統計調査を用いたセルフメディケーション・セルフメディケーション税制導入による潜在的な医療費削減効果の推計と ii) スマートフォンアプリケーションを用いたアンケートによるセルフメディケーション・セルフメディケーション税制利用動向調査を実施した。そして、これらの結果に基づいて、研究班内での検討を行い、指標として「セルフメディケーション税制の導入による税収減少効果」「医療用医薬品からセルフメディケーションへの移行にともなう保険医療費削減効果」の双方を設定しつつ、iii) 双方の財政インパクトを経時的に捕捉する評価手法の確立を目指した。

B) 方法

i) 商用レセプトデータベース・薬事工業生産動態統計調査を用いたセルフメディケーション・セルフメディケーション税制導入による潜在的な医療費削減効果の推計

申請者らは、令和2年度までの研究によって、あらかじめ設定した11領域（既存のOTC置き換え可能領域6領域・新規の領域5領域）について、対象疾患を含む医療費のうち「医療機関の受診が不要な疾患である人数」に「単一疾患のみを罹患しているレセプトの一件あたり医療費」を乗じて、潜在的な置き換え可能医療費を推計した。削減幅の合計は既存6領域で2,330億円・新規領域で880億円、合計で3,210億円であった。

本年度は、全体把握のために、医療用医薬品の売上のうち現状の置き換わり状況を把握すべく、OTC医薬品の売上げと医療用医薬品の売上げについて、「総数でのシェア」「OTC成分でのシェア」「OTC効能のシェア」の3つについて、薬効分類ごとの算出を実施した。126の薬効分類のうち、OTCの売上がゼロでない66分類について分析を実施した。医療用医薬品の売上げ10.4兆円（2019年度）のうち、66分類の売上げは6.4兆円（61.7%）を占めた。

各薬効分類ごとにOTC医薬品と医療用医薬品の売上げを求めた上で、分子はすべてOTC売上に設定し、分母の「医療用医薬品売上」を以下のように変化させて、「OTC売上÷(OTC売上+各状況における『医療用医薬品売上』)」をOTCのシェアと定義し、それぞれのケースで求めた。

1) 総数でのシェア：各薬効分類の医療用医薬品売上の全合計

2) OTC成分でのシェア：各薬効分類の医療用医薬品のうち、OTCが存在する成分（品目）の売上の合計

3) OTC効能でのシェア：OTCが存在する成分（品目）のうち、OTCで置き換え可能な疾患に対して用いられた部分の売上の合計

66分類（大項目）の売上げは薬事工業生産動態統計調査を用いて算出した。その上で、各品目の売上げとOTC置き換え可能な疾患に対して使用された部分に絞った売上げは、商用レセプトデータベース上の該当薬剤の処方件数と、該当薬剤の処方のうち予め定義した「対象疾患」に対して使用された件数を用いて算出した。データソースとしては、組合健保の加入者（約500万人）を対象とするJAMMNET株式会社のデータベースを用いた。

あわせて、セルフメディケーション税制対象品目が存在する主要薬効分類13種について、OTCの売上のうちセルフメディケーション税制の対象となる品目が占める割合を算出した。

ii) スマートフォンアプリケーションを用いたアンケートによるセルフメディケーション・セルフメディケーション税制利用動向調査

健保組合加入者を対象にしたスマートフォンベースの健康啓発アプリケーションを用いて、アプリ利用者に対してセルフメディケーション・セルフメディケーション税制利用動向調査を実施し、税制の利用に関わる因子と行動様式の同定を試みた。

アプリ利用者に対して定期的実施しているアンケートに、

「セルフメディケーション税制の認知度」

「医療費控除の認知度」

「確定申告の有無・医療費控除制度の利用の有無」

「セルフメディケーション税制制度の利用の有無」

「OTC 医薬品の年間購入金額」

に関する質問を追加し、調査を行った。

iii) 令和 4 年（新制度導入）以降の制度導入に伴う医療費削減効果推計の基盤整備

セルフメディケーション税制導入の効果と、セルフメディケーションそのものの置き換えによる効果について、指標としては「セルフメディケーション税制の導入による税収減少効果」「医療用医薬品からセルフメディケーションへの移行にともなう保険医療費削減効果」の双方を捕捉することが有用である。医療用医薬品からセルフメディケーションへの移行を捕捉するためには、

- 1) 対象となりうる（置き換わりうる）医療用医薬品の市場規模の把握
- 2) セルフメディケーションへの「置き換え」の促進（行動変容の促し）
- 3) セルフメディケーションへの置き換わり金額の把握

の 3 つの評価が肝要になる。1) と 3) は金銭的な把握が可能な部分で、2) は行動経済学的评价が求められる部分である。金銭的定量化が（相対的には）容易な 1) 3) も、通常の医療介入とは異なり、3) の部分（セルフメディケーションの売上関連の部分）は保険請求データでは捕捉不可能であるため、他のデータソースを用いた複合的な評価が不可欠である。

以上のようなセルフメディケーション領域の特性を十二分に考慮するために、i) や ii) の検討結果を踏まえて、次年度以降にどのような形での実態評価を実施するかについて、プロトコルと研究体制の基礎作りを実施した。

C) 結果

i) 商用レセプトデータベース・薬事工業生産動態統計調査を用いたセルフメディケーション・セルフメディケーション税制導入による潜在的な医療費削減効果の推計

（五十嵐）

表 1-1 に、薬効分類ごとの OTC 医薬品の売上げと、予め定義した「総数」「OTC 成分」「OTC 効能」の条件を満たす医療用医薬品の売上げを示した。

医療用医薬品の売上げ 10.4 兆円（2019 年度）のうち、OTC が存在する 66 分類の売上は 6.4 兆円（61.7%）を占めた。OTC の医薬品の売上げは 7,930 億円で、総売上げをベースにした場合のシェアは 7.1%（7,930 億円 ÷（10.4 兆 + 7,930 億））、OTC が存在する薬効分類に絞った場合のシェアは 11.0%（7,930 億円 ÷（6.4 兆 + 7,930 億））であった。

66 分類の医療用医薬品の売上総額 6.4 兆円を、レセプトから得た品目別の売上および品目で絞り込んだ場合、OTC が存在する品目の売上総額（表中の「OTC 成分」）は 6,630 億円、さらに OTC で代替可能な部分の売上総額（表中の「OTC 効能」）は 3,228 億円となった。これらを「医療用医薬品売上」の分母として計算した場合の OTC のシェアは、「OTC

成分」ベースでは 54.5%，「OTC 効能」ベースでは 71.2%であった。

セルフメディケーション税制の対象となる主要薬効について、OTC のうち税制対象品目のシェアも含めて抽出したものを表 1-2 に示す。主要薬効の OTC 売上合計は 4,368 億円で、そのうち 31.9%の 1,394 億円が税制対象品目であった。対応する医療用医薬品の売上は、全体では 1 兆 3,089 億円、成分で絞った場合は 3,714 億円、成分と効能で絞った場合は 1,606 億円であった。OTC のシェアは、それぞれのケースで 25.0%・54.0%・73.1%となった。

OTC のうち税制対象品目のシェアを薬効分類ごとに見ると、かぜ系で 48.2% (1,615 億円中 779 億円)、鼻炎系で 49.1% (316 億円中 155 億円)、鎮痛剤で 37.9% (910 億円中 345 億円)、消化器系で 8.1% (722 億円中 58 億円)、ビタミン剤で 6.9% (804 億円中 56 億円)であった。

ii) スマートフォンアプリケーションを用いたアンケートによるセルフメディケーション・セルフメディケーション税制利用動向調査

(五十嵐・和田・後藤)

2021 年 6 月～7 月にかけて調査を実施し、23,721 人から有効回答を得た。

図 2-1 に、セルフメディケーション税制と医療費控除制度それぞれの認知度を示す。

「よく理解している」および「ほぼ理解している」回答者の割合は、セルフメディケーション税制で 22.3% (5,304 人)、医療費控除制度では 56.6% (13,431 人)であった。両制度の認知度に関するクロス集計では、両制度の認知度相互間に強い相関があった($p < 0.01$)。医療費控除制度を「よく理解している」層と「ほぼ理解している」層では、セルフメディケーション税制についても高い認知度を示した(「よく理解」層で 63.8%，「ほぼ理解」層で 28.5%)。

確定申告・医療費控除制度・セルフメディケーション税制の利用の有無の回答を図 2-2 と表 2-2 に示す。それぞれの利用割合は確定申告 47.4%・医療費控除 24.9%・セルフメディケーション 2.3%で、547 人が「セルフメディケーション税制を利用した」と回答した。

一般的なセルフメディケーション税制の利用率と比較して、ある程度平均所得も高く利用意向も高い健保加入者(のうちのアプリ利用者)であることを加味しても高い利用率(2.3%)が観測された。しかし、図 2-3 に示した医療費控除の利用とセルフメディケーション税制の利用有無とのクロス集計では、セルフメディケーション税制を「利用した」と回答した 547 人のうち、医療費控除を「利用していない」と回答したのは 50 人(9.1%)にとどまり、493 人(90.1%)は医療費控除を「利用した」と回答していた。

図 2-5 に、セルフメディケーション税制を「利用した」と回答した 547 人について、年間の OTC 医薬品全体および対象品目の購入金額を示す。「わからない」の回答者を除くと、購入額が税制の対象となる 12,000 円を上回ったのは OTC 全体で 442 人中 110 人(24.8%)、対象品目で 326 人中 41 人(12.6%)であった。なお、「全く購入していない」の回答者は OTC 全体で 25 人・対象品目で 12 人であった。

iii) 令和4年(新制度導入)以降の制度導入に伴う医療費削減効果推計の基盤整備
(全員)

i)ii)の結果と、先行して実施していた研究結果も踏まえて、令和4年以降の制度導入に伴う医療費削減効果(セルフメディケーションそのものの影響と、セルフメディケーション税制導入の影響)推計のベースとなる方法論の開発を実施した。

通常の保険診療で行われる医療とは異なり、セルフメディケーションおよびセルフメディケーション税制は、消費者(患者)側の能動的なアクション(OTCの購入・金額の捕捉・申請など)が必要となる。また、OTCの購入金額はレセプトからでは当然捕捉できないため、アンケートや店舗側の売上データに立脚した評価が不可欠である。

<保険加入者向けアプリケーションを用いた調査と医療費把握>

ii)の調査で見られたように、現状ではセルフメディケーション税制の認知度およびセルフメディケーション税制の利用について、医療費控除(セルフメディケーション税制とは併用不可能で、どちらか一方のみ申告時に利用可能)との混同が強く疑われる回答が見られた。これらを踏まえて、まずアプリケーションを利用した縦断的調査について、医療費控除との混同を未然に防ぐ形で質問票の再構成を実施した(表3)。

再構成した質問票を用いた調査は、2022年6月に実施予定である。今回の調査で約23,000人から有効回答を得たが、アプリケーション利用者が増加傾向にあることを考え合わせると、同等か若干多い人数の25,000人~30,000人からの回答取得を見込んでいる。

あわせて、アンケート回答者の60%程度は経時的に回答しているため、複数年の回答者のデータを切り出した経時的評価も実施する。今回の調査で用いたアプリケーションは、回答者が加入する健保・国保の医科レセプト情報(750万人程度)とも連携しており、利用動向と関連疾患の医療費の変化に与える影響も評価できる。これらのデータにより、「レセプトからの医療費情報」「アンケートからのセルフメディケーション関連の支出額」「アンケートからのセルフメディケーション税制・医療費控除の利用状況」を総合的に把握することが可能になる。また、能動的なアプローチとして、セルフメディケーションおよびセルフメディケーションに関する情報を配信し、配信前後での利用動向の変化を評価することも試みる。

<他のチャネルを用いた経時的検証>

保険加入者向けアプリケーション以外に「双方向性がある程度担保され(すなわち、セルフメディケーションに関する能動的な情報提供が可能であり)、医療費とセルフメディケーションの購入額の双方を一定レベルの正確性をもって追跡可能な」データソースとして、i)調剤薬局機能を重視するドラッグストアチェーンと連携した調査と、ii)セルフメディケーションの利用促進活動と、OTC医薬品の販路の提供を自主的に行っている健康保険組合との連携を計画した。前者では、調剤薬局機能をもつドラッグストアチェーンと連携した上で、協力が得られる店舗(10-20店舗)をパイロットとしてOTC医薬品・セルフメディケーション税制対象製品の売上げデータと、OTCで置き換え可能な医療用医薬品データ(保険調剤の

データ)の双方を取得した上で、置き換わり状況の比較を行う。

後者について、健康保険組合の取り組みとして(加入者数10万人程度)、特定の領域(花粉症など)の薬剤について保険医療費が発生している(すなわち、セルフメディケーションへの移行が可能な)加入者に対して、セルフメディケーションの利用案内をするとともに、組合内に構築したOTCのオンライン販売サイトの紹介を行っている。単なる啓発にとどまらず、組合内でのOTCオンライン販売サイトを構築しているため、医療費の発生・OTCの置き換え啓発・OTCの購入が自組合内で完結する。そのため、OTCへの実際の移行の有無を含めて、組合で捕捉が可能である。

これらの枠組みを用いて、多角的な観点から「セルフメディケーション税制導入・利用にともなう減税額」と「OTCへの置き換わりに伴う医療費減少分」の比較を、経時的に実施する。

<セルフメディケーション税制の利用意向に関する行動経済学的調査>

アプリケーションを用いた調査と、その結果により、セルフメディケーションおよびセルフメディケーション税制について最適なスタイルの調査デザインを検討した。OTC協会などによるこれまでのアンケート調査によって、セルフメディケーション・セルフメディケーション税制それぞれの利用の実態はある程度明らかになっている。あわせて、セルフメディケーション税制の利用に至るまで、医療費支出の大小や知識の有無、制度利用に関するリテラシーなど、さまざまな要因が影響することが示唆されている。過去に行った同種の調査では、利用動向に影響する複数の要因を並列して提示したうえで、それぞれの影響を量的に検討するコンジョイント調査の手法を主に使用してきた。しかしセルフメディケーション・セルフメディケーション税制の使用の有無の場合には、「置き換わりうる医療の発生の有無」「セルフメディケーションそのものの利用の有無」「制度に関する知識の有無」などが、並列ではなく垂直的に影響することが示唆されている。そのため、横断的に要素を提示するコンジョイント調査のスタイルではなく、順を追って要素を提示した上で、「脱落率」を評価していく手法により、利用動向の推計を実施する。具体的には、

- 利用額(対象金額になるほどセルフメディケーションを使わない)
- 受療行動の選好(軽医療でも医療機関の受診を希望する)
- 確定申告の有無
- 医療費控除の有無
- 対象商品に関する知識(どの製品が対象になるかがわからない)
- 申請方法に関する知識(申請方法がわからない)
- 還付金額の多寡
- 手続そのもののハードル(レシートの収集などが負担になる)

などの項目を設定した上で、それぞれの要素についての「脱落率」の評価を行い、行動様式あるいは行動変容につながる因子の同定を試みる。

行動経済学的調査はより細密な意思決定に関わる調査ができる反面、行動を個人レベルで捕捉する（実際にセルフメディケーション税制を利用したかどうか）ことは、横断的な調査しか実施できないことから考えてもやや困難である。税制の実際の利用者について行動変容の「きっかけ」を問う調査は、アプリケーションの利用者や健保啓発プログラムの利用者などを対象に、別途実施する。

<現行制度による医療費削減効果の検証>

現行の制度が対象とする領域と、拡張しうる複数の領域を特定した上で、セルフメディケーションに置き換え可能な保険医療費の総額（すなわち、セルフメディケーション導入によって削減しうる医療費）の算出を行う。データソースとしては、複数の商用レセプトデータベースに加え、保険者自身のデータの利活用も考慮する。抽出条件その他に対しては臨床医などとも連携した上で、単なる領域別の医療費でなく、OTCによって「代替しうる（すなわち、代替しても医療の質に変化が生じない）」領域を特定する。

D)考察

通常の保険診療で行われる医療とは異なり、セルフメディケーションおよびセルフメディケーション税制を評価するためには、消費者（患者）側の能動的なアクション（OTCの購入・金額の捕捉・申請など）も必要となる。制度導入の影響について、歳入減少効果としての「セルフメディケーション税制の利用による税収削減」、歳出減少効果として「OTCへの置き換わりによる保険医療費削減」を捉えつつ、単なるレセプト分析を超えて、利用者の行動変容（と認知度向上）を目指すプログラムと連携した評価手法の開発を行った。

税制導入のインパクトを複眼的に推計することと、そもそものセルフメディケーションおよびセルフメディケーション税制の認知度を高めること、さらに認知度向上に資する施策の特定を経時的に進めることで、「セルフメディケーション税制の利用率・認知率向上」と「向上したことの潜在的・顕在的社会経済的インパクト」の双方を評価し、政策評価の基盤となるエビデンスの提供を図っていく予定である。

表1-1 OTC医薬品のシェア

2019年度

(単位：千円)

番号	薬効分類		OTC医薬品	医療用医薬品			OTC効能
				総数	OTC薬効	OTC成分	
総 数		金額	793,469,370	10,430,122,142	6,431,424,206	662,995,984	322,827,181
		比率			61.7%	10.3%	48.7%
		OTC比		7.1%	11.0%	54.5%	71.08%
111	全身麻酔剤	金額	—	12,670,692	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
112	催眠鎮静剤, 抗不安剤	金額	3,446,745	68,833,729	68,833,729	9,312	1,227
		比率				0.01%	13.2%
		OTC比			4.8%	99.7%	99.96%
113	抗てんかん剤	金額	—	74,888,697	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
114	解熱鎮痛消炎剤	金額	55,891,566	143,805,120	143,805,120	36,818,265	11,816,784
		比率				25.6%	32.1%
		OTC比			28.0%	60.3%	82.5%
115	興奮剤, 覚せい剤	金額	544,904	2,687	2,687	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			99.5%	0.0%	0.0%
116	抗パーキンソン剤	金額	—	96,212,504	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
117	精神神経用剤	金額	227,487	303,872,681	303,872,681	0	0
		OTC比				0.0%	0.0%
		比率			0.1%	100.0%	100.0%
118	総合感冒剤	金額	83,210,135	1,696,033	1,696,033	1,696,033	1,696,033
		比率				100%	100%
		OTC比			98.0%	98.0%	98.0%
119	その他の中枢神経系用薬	金額	83,153	325,873,388	325,873,388	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		比率			0.03%	100.0%	100.0%
121	局所麻酔剤	金額	—	11,455,407	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
122	骨格筋弛緩剤	金額	199,121	21,976,769	21,976,769	37,517	30,416
		比率				0.2%	81.1%
		OTC比			0.9%	84.1%	86.7%

123	自律神経剤	金額	—	2,340,838	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
124	鎮けい剤	金額	356,475	7,688,996	7,688,996	409,299	136,787
		比率				5.3%	33.4%
		OTC比			4.4%	46.6%	72.3%
129	その他の末梢神経系用薬	金額	141,629	16,507,490	16,507,490	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.9%	100.0%	100.0%
131	眼科用剤	金額	71,689,734	316,369,015	316,369,015	5,977,817	3,920,232
		比率				1.9%	65.6%
		OTC比			18.5%	92.3%	94.8%
132	耳鼻科用剤	金額	20,513,544	41,068,867	41,068,867	4,516,038	4,409,673
		比率				11.0%	97.6%
		OTC比			33.3%	82.0%	82.3%
133	鎮量剤	金額	2,978,567	6,464,180	6,464,180	710,818	694,076
		比率				11.0%	97.6%
		OTC比			31.5%	80.7%	81.1%
139	その他の感覚器官用薬	金額	5,791	—	0	0	0
		比率					
		OTC比			100.0%	100.0%	100.0%
211	強心剤	金額	9,755,600	7,917,132	7,917,132	421,248	15,327
		比率				5.3%	3.6%
		OTC比			55.2%	95.9%	99.8%
212	不整脈用剤	金額	—	44,144,601	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
213	利尿剤	金額	718,930	87,081,078	87,081,078	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.8%	100.0%	100.0%
214	血圧降下剤	金額	11,046	336,555,627	336,555,627	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	100.0%	100.0%
215	血管補強剤	金額	23,752	—	0	0	0
		比率					
		OTC比			100.0%	100.0%	100.0%
216	血管収縮剤	金額	—	13,724,218	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
217	血管拡張剤	金額	—	128,834,281	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%

		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
218	高脂血症用剤	金額	954,695	414,498,048	414,498,048	27,176,400	2,801,350
339	その他の血液・体液用薬	比率				6.6%	10.3%
		OTC比			0.2%	3.4%	25.4%
219	その他の循環器官用薬	金額	682,991	165,574,592	165,574,592	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.4%	100.0%	100.0%
221	呼吸促進剤	金額	—	37,811,536	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
222	鎮咳剤	金額	20,682,746	48,099,538	48,099,538	43,117,301	10,306,830
223	去たん剤	比率				89.6%	23.9%
224	鎮咳去たん剤	OTC比			30.1%	32.4%	66.7%
225	気管支拡張剤	金額	—	52,503,769	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
226	含嗽剤	金額	2,652,681	2,318,071	2,318,071	2,318,071	1,693,794
		比率				100.0%	73.1%
		OTC比			53.4%	53.4%	61.0%
229	その他の呼吸器官用薬	金額	1,556,555	135,448,538	135,448,538	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			1.1%	100.0%	100.0%
231	止しゃ剤, 整腸剤	金額	8,486,299	18,118,122	18,118,122	11,435,402	6,817,162
		比率				63.1%	59.6%
		OTC比			31.9%	42.6%	55.5%
232	消化性潰瘍用剤	金額	657,310	248,600,666	248,600,666	17,662,258	5,298,790
		比率				7.1%	30.0%
		OTC比			0.3%	3.6%	11.0%
233	健胃消化剤	金額	5,878,838	8,417,267	8,417,267	2,045,296	1,515,956
		比率				24.3%	74.1%
		OTC比			41.1%	74.2%	79.5%
234	制酸剤	金額	3,779,886	21,356,640	21,356,640	21,356,640	15,157,498
		比率				100.0%	71.0%
		OTC比			15.0%	15.0%	20.0%
235	下剤, 浣腸剤	金額	23,557,163	54,284,802	54,284,802	14,971,365	12,807,771
		比率				27.6%	85.5%
		OTC比			30.3%	61.1%	64.8%
236	利胆剤	金額	114,076	12,201,735	12,201,735	12,065,997	115,348
		比率				98.9%	1.0%
		OTC比			0.9%	0.9%	49.7%
		金額	29,489,223	—	0	0	0

237	複合胃腸剤	比率					
		OTC比			100.0%	100.0%	100.0%
239	その他の消化器官用薬	金額	244,378	192,916,695	192,916,695	2,806,794	2,187,795
		比率				1.5%	77.9%
		OTC比			0.1%	8.0%	10.0%
241	脳下垂体ホルモン剤	金額	—	90,865,714	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
243	甲状腺、副甲状腺ホルモン剤	金額	—	114,718,683	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
244	たん白同化ステロイド剤	金額	—	129,566	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
245	副腎ホルモン剤	金額	—	23,834,261	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
246	男性ホルモン剤	金額	23,477	464,321	464,321	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
247	卵胞ホルモン及び黄体ホルモ ン剤	金額	—	11,186,387	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
248	混合ホルモン剤	金額	—	23,080,724	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
249	その他のホルモン剤（抗ホル モン剤を含む。）	金額	—	283,996,294	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
251	泌尿器官用剤	金額	7,972	158,241	158,241	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			4.8%	100.0%	100.0%
252	生殖器官用剤（性病予防剤を 含む。）	金額	66,616	897,280	897,280	174,357	157,612
		比率				19.4%	90.4%
		OTC比			6.9%	27.6%	29.7%
253	子宮収縮剤	金額	—	139,393	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
254	避妊剤	金額	—	7,357,775	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%

255	痔疾用剤	金額	8,272,492	8,935,656	8,935,656	33,906	30,650
		比率				0.4%	90.4%
		OTC比			48.1%	99.6%	99.6%
259	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	金額	342,704	151,979,533	151,979,533	223,377	27,631
		比率				0.1%	12.4%
		OTC比			0.2%	60.5%	92.5%
261	外皮用殺菌消毒剤	金額	22,147,000	21,055,716	21,055,716	20,520,706	20,520,706
		比率				97.5%	100.0%
		OTC比			51.3%	51.9%	51.9%
262	創傷保護剤	金額	1,671,739	—	0	0	0
		比率					
		OTC比			100.0%	100.0%	100.0%
263	化膿性疾患用剤	金額	11,070,432	7,945,000	7,945,000	446,023	141,977
		比率				5.6%	31.8%
		OTC比			58.2%	96.1%	98.7%
264	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	金額	91,018,396	160,721,962	160,721,962	111,852,997	44,155,775
		比率				69.6%	39.5%
		OTC比			36.2%	44.9%	67.3%
265	寄生性皮膚疾患用剤	金額	10,454,375	10,721,676	10,721,676	3,117,556	1,903,739
		比率				29.1%	61.1%
		OTC比			49.4%	77.0%	84.6%
266	皮膚軟化剤（腐しよく剤を含む。）	金額	8,206,594	381,773,275	381,773,275	75,924,875	42,088,323
		比率				19.9%	55.4%
333	血液凝固阻止剤	OTC比			2.1%	9.8%	16.3%
267	毛髪用剤（発毛剤, 脱毛剤, 染毛剤, 養毛剤）	金額	18,298,232	1,015,916	1,015,916	1,015,916	866,676
		比率				100.0%	85.3%
		OTC比			94.7%	94.7%	95.5%
268	浴剤	金額	538	—	0	0	0
		比率					
		OTC比			100.0%	100.0%	100.0%
269	その他の外皮用薬	金額	3,108,587	33,746,304	33,746,304	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
271	歯科用局所麻酔剤	金額	—	4,553,846	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
273	歯科用鎮痛鎮静剤（根管及び齶窩消毒剤を含む。）	金額	73,698	302,784	302,784	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
275	歯髄覆罩剤	金額	—	27,719	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%

		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
276	歯科用抗生物質製剤	金額	—	1,629,406	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比				0.0%	0.0%
279	その他の歯科口腔用薬	金額	12,202,561	2,791,064	2,791,064	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比				0.0%	0.0%
29	その他の個々の器官系用医薬品	金額	3,337	1,022,133	1,022,133	89,355	59,824
		比率				8.7%	67.0%
		OTC比				0.3%	3.6%
31	ビタミン剤	金額	80,445,821	116,587,482	116,587,482	32,407,438	19,214,726
		比率				27.8%	59.3%
		OTC比				40.8%	71.3%
321	カルシウム剤	金額	1,434,913	2,229,685	2,229,685	0	0
		比率					
		OTC比					
322	無機質製剤	金額	769,216	8,418,462	8,418,462	1,210,937	1,127,673
		比率				14.4%	93.1%
		OTC比				8.4%	38.8%
323	糖類剤	金額	412	6,886,020	6,886,020	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比				0.0%	0.0%
325	たん白アミノ酸製剤	金額	148,026	117,054,436	117,054,436	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比				0.0%	0.0%
326	臓器製剤	金額	53,795	109,816	109,816	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比				0.0%	0.0%
327	乳幼児用剤	金額	1,345	303,280	303,280	287,168	285,192
		比率				94.7%	99.3%
		OTC比				0.4%	0.5%
329	その他の滋養強壯薬	金額	37,970,017	2,388,259	2,388,259	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比				0.0%	0.0%
331	血液代用剤	金額	—	77,748,308	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比				0.0%	0.0%
332	止血剤	金額	—	12,165,786	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比				0.0%	0.0%
		金額	—	42,024,148		0	0

341	人工腎臓透析用剤	比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
342	腹膜透析用剤	金額	—	18,518,988	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
349	その他の人工透析用薬	金額	—	158,901	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
391	肝臓疾患用剤	金額	314,512	4,829,839	4,829,839	672,830	1,741
		比率				13.9%	0.3%
		OTC比			6.1%	31.9%	99.4%
392	解毒剤	金額	—	56,873,704	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
393	習慣性中毒用剤	金額	—	160,965	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
394	痛風治療剤	金額	—	63,018,590	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
395	酵素製剤	金額	—	55,053,352	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
396	糖尿病用剤	金額	208,821	385,239,868	385,239,868	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
397	総合代謝性製剤	金額	34,570,648	—	0	0	0
		比率					
		OTC比			100.0%	100.0%	100.0%
399	他に分類されない代謝性医薬品	金額	8,144,970	826,422,924	826,422,924	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
411	クロロフィル製剤	金額	422,391	—	0	0	0
		比率					
		OTC比			100.0%	100.0%	100.0%
412	色素製剤	金額	775,804	—	0	0	0
		比率					
		OTC比			100.0%	100.0%	100.0%
419	その他の細胞賦活用薬	金額	—	51,229	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%

42	腫瘍用薬	金額	—	1,590,068,185	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
421	アルキル化剤	金額	—	17,119,198	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
422	代謝拮抗剤	金額	—	101,419,947	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
423	抗腫瘍性抗生物質製剤	金額	—	10,002,124	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
424	抗腫瘍性植物成分製剤	金額	—	64,470,775	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
429	その他の腫瘍用薬	金額	—	1,397,056,141	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
43	放射性医薬品	金額	—	48,514,166	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
441	抗ヒスタミン剤	金額	1,684,280	3,289,148	3,289,148	2,814,664	1,844,326
		比率				85.6%	65.5%
		OTC比			33.9%	37.4%	47.7%
442	刺激療法剤	金額	—	2,005,909	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
449	その他のアレルギー用薬	金額	11,112,773	237,785,087	237,785,087	55,785,412	23,314,781
		比率				23.5%	41.8%
		OTC比			4.5%	16.6%	32.3%
51	生薬	金額	15,227,064	7,384,032	7,384,032	7,207,855	0
59	その他の生薬及び漢方処方に 基づく医薬品	比率				97.6%	0.0%
		OTC比			67.3%	67.9%	100.0%
52	漢方製剤	金額	38,440,500	140,889,923	140,889,923	137,711,870	81,510,230
		比率				97.7%	59.2%
		OTC比			21.4%	21.8%	32.0%
61	抗生物質製剤	金額	—	201,524,614	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
621	サルファ剤	金額	—	3,521,940	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%

		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
622	抗結核剤	金額	—	1,621,343	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比				0.0%	0.0%
623	抗ハンセン病剤	金額	—	3,512	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比				0.0%	0.0%
624	合成抗菌剤	金額	—	28,123,296	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比				0.0%	0.0%
625	抗ウイルス剤	金額	425,903	320,217,231	320,217,231	2,472,048	677,924
		比率				0.8%	27.4%
		OTC比				0.1%	14.7%
629	その他の化学療法剤	金額	—	59,074,932	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比				0.0%	0.0%
63	生物学的製剤	金額	—	588,552,383	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比				0.0%	0.0%
641	抗原虫剤	金額	—	1,636,446	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比				0.0%	0.0%
642	駆虫剤	金額	36,425	99,785	99,785	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比				0.0%	0.0%
711	賦形剤	金額	—	146,598	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比				0.0%	0.0%
712	軟膏基剤	金額	922,913	2,977,670	2,977,670	2,977,670	2,977,670
		比率				100.0%	100.0%
		OTC比				23.7%	23.7%
713	溶解剤	金額	1,526,158	5,853,280	5,853,280	86,782	86,782
		比率				1.5%	100.0%
		OTC比				20.7%	94.6%
714	矯味, 矯臭, 着色剤	金額	887	135,198	135,198	135,198	135,198
		比率				100.0%	100.0%
		OTC比				0.7%	0.7%
719	その他の調剤用薬	金額	—	86,943	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比				0.0%	0.0%
		金額	—	76,102,093	0	0	0

診断用薬 (体外診断用医薬品)

72	処方用薬（体外診断用医薬品を除く。）	比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
731	防腐剤	金額	—	947	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
732	防疫用殺菌消毒剤	金額	4,399,782	4,144,995	4,144,995	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
733	防虫剤	金額	635,375	—	0	0	0
		比率					
		OTC比			100.0%	100.0%	100.0%
734	殺虫剤	金額	10,161,486	—	0	0	0
		比率					
		OTC比			100.0%	100.0%	100.0%
739	その他の公衆衛生用薬	金額	128,596	—	0	0	0
		比率					
		OTC比			100.0%	100.0%	100.0%
74	体外診断用医薬品	金額	4,222,853	420,552,750	420,552,750		
		比率					
		OTC比					
799	他に分類されない治療を主目的としない医薬品	金額	3,779,914	26,546,669	26,546,669	275,175	275,175
		比率				1.0%	100.0%
		OTC比			12.5%	93.2%	93.2%
81	アルカロイド系麻薬（天然麻薬）	金額	—	15,433,634	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%
82	非アルカロイド系麻薬	金額	—	20,400,713	0	0	0
		比率				0.0%	0.0%
		OTC比			0.0%	0.0%	0.0%

表1-2 セルフメディケーション税制対象薬効のOTCシェア (単位・千円)

		OTC	OTCのうち 税制対象	税制対象品目の 割合	医療用 (全体)	医療用 (成分)	医療用 (効能)	OTCシェア (対全体)	OTCシェア (対成分)	OTCシェア (対効能)	
114	かぜ関連	解熱鎮痛消炎剤	55,891,566	37,376,219	66.9%	143,805,120	36,818,265	11,816,784	28.0%	60.3%	82.5%
118	かぜ関連	総合感冒剤	83,210,135	38,351,303	46.1%	1,696,033	1,696,033	1,696,033	98.0%	98.0%	98.0%
222,223,224	かぜ関連	鎮咳去痰剤	20,682,746	1,700,331	8.2%	48,099,538	43,117,301	10,306,830	30.1%	32.4%	66.7%
441	かぜ関連	抗ヒスタミン剤	1,684,280	477,019	28.3%	3,289,148	2,814,664	1,844,326	33.9%	37.4%	47.7%
かぜ関連小計			161,468,727	77,904,872	48.2%	196,889,839	84,446,264	25,663,972	45.1%	65.7%	86.3%
132	鼻炎関連	耳鼻科用剤	20,513,544	4,429,304	21.6%	41,068,867	4,516,038	4,409,673	33.3%	82.0%	82.3%
449	鼻炎関連	その他アレルギー用薬	11,112,773	11,096,252	99.9%	237,785,087	55,785,412	23,314,781	4.5%	16.6%	32.3%
鼻炎関連小計			31,626,317	15,525,556	49.1%	278,853,954	60,301,450	27,724,454	10.2%	34.4%	53.3%
264	鎮痛・鎮痒・収斂・消炎剤	鎮痛・鎮痒・収斂・消炎剤	91,018,396	34,534,873	37.9%	160,721,962	111,852,997	44,155,775	36.2%	44.9%	67.3%
231	消化器官用薬	止しゃ剤、整腸剤	8,486,299			18,118,122	11,435,402	6,817,162	31.9%	42.6%	55.5%
232	消化器官用薬	消化性潰瘍用剤	657,310			248,600,666	17,662,258	5,298,790	0.3%	3.6%	11.0%
233	消化器官用薬	健胃消化剤	5,878,838			8,417,267	2,045,296	1,515,956	41.1%	74.2%	79.5%
234	消化器官用薬	制酸剤	3,779,886			21,356,640	21,356,640	15,157,498	15.0%	15.0%	20.0%
235	消化器官用薬	下剤、浣腸剤	23,557,163			54,284,802	14,971,365	12,807,771	30.3%	61.1%	64.8%
236	消化器官用薬	利胆剤	114,076			12,201,735	12,065,997	115,348	0.9%	0.9%	49.7%
237	消化器官用薬	複合胃腸剤	29,489,223			0	0	0	100.0%	100.0%	100.0%
239	消化器官用薬	その他の消化器官用薬	244,378			192,916,695	2,806,794	2,187,795	0.1%	8.0%	10.0%
消化器官用薬合計			72,207,173	5,816,576	8.1%	555,895,927	82,343,752	43,900,321	11.5%	46.7%	62.2%
31	ビタミン剤		80,445,821	5,589,554	6.9%	116,587,482	32,407,438	19,214,726	40.8%	71.3%	80.7%
合計			436,766,434	139,371,431	31.9%	1,308,949,164	371,351,900	160,659,248	25.0%	54.0%	73.1%

表2-2 セルフメディケーション税制と医療費控除それぞれの認知度の関係

度数 列% 行%	セルフメディケーション税制の認知度					合計
	01 よく理解している	02 ほぼ理解している	03 聞いたことはあるが、あまり理解していない	04 聞いたことはあるが、理解していない	05 聞いたことがない	
		1167	977	669	184	
01 よく理解している	86.06	24.75	9.07	6.06	4.53	3,360
	34.73	29.08	19.91	5.48	10.8	
	142	2732	3621	1178	2398	
02 ほぼ理解している	10.47	69.2	49.12	38.83	29.93	10,071
	1.41	27.13	35.95	11.7	23.81	
医療費控除の認知度	40	219	2918	1167	3356	
03 聞いたことはあるが、理解していない	2.95	5.55	39.58	38.46	41.89	7,700
	0.52	2.84	37.9	15.16	43.58	
	5	15	152	492	1509	
04 聞いたことはあるが、理解していない	0.37	0.38	2.06	16.22	18.84	2,173
	0.23	0.69	6.99	22.64	69.44	
	2	5	12	13	385	
05 聞いたことがない	0.15	0.13	0.16	0.43	4.81	417
	0.48	1.2	2.88	3.12	92.33	
合計	1,356	3,948	7,372	3,034	8,011	23,721

表3 セルフメディケーション税制の利用動向に関するアンケート調査・調査票（2022年実施用）

29	あなたはセルフメディケーション税制についてどの程度ご存じですか (画像：【セルフメディケーション税制】を挿入)	よく理解している ほぼ理解している 聞いたことはあるが、あまり理解していない 聞いたことはあるが、理解していない 聞いたことがない
30	あなたは医療費控除についてどの程度ご存じですか (画像：【医療費控除】を挿入)	よく理解している ほぼ理解している 聞いたことはあるが、あまり理解していない 聞いたことはあるが、理解していない 聞いたことがない
31	あなた、もしくはあなたの家族は、2021年分(昨年分)の確定申告を行いましたか？ ※「2021年分の確定申告」は、2021年1月～12月の収入を、2022年に申告するものを指します。	自分自身が、確定申告を行った 自分以外の家族が、確定申告を行った 自分も家族も、別々に確定申告を行った 自分も家族も、確定申告はしていない
32	確定申告にあたり、病院やクリニックでかかった医療費の一部を所得から差し引けるシステム（医療費控除）の申請を行いましたか？	自分自身が、医療費控除の申請を行った 自分以外の家族が、医療費控除の申請を行った 自分も家族も、別々に医療費控除の申請を行った 自分も家族も、医療費控除の申請はしていない
33	医療費控除には、OTC医薬品（市販薬）の費用も一部含めて申請することができます。この制度を利用しましたか？	医療費控除に、OTC医薬品（市販薬）の費用も含まれた 医療費控除に、OTC医薬品（市販薬）の費用は含まなかった
34	医療費控除を申請しない場合、一部のOTC医薬品（市販薬）の購入費用を所得から差し引くことができます（セルフメディケーション税制）。この制度を利用しましたか？ ※対象となるOTC医薬品の購入金額が12,000円超のときに控除対象となります。	セルフメディケーション税制を利用した セルフメディケーション税制は利用していない
35	2021年1年間の、OTC医薬品（市販薬）の購入金額はいくらでしたか。あなたご自身だけでなく、世帯全体の購入額でお答え下さい。	・分からない ・全く購入していない（0円） ・～4,000円 ・～8,000円 ・～12,000円 ・～24,000円
36	【図A】をご覧ください。OTC医薬品（市販薬）のうち、図Aに記載されているものは、セルフメディケーション税制の対象となります。この中に含まれる医薬品の購入金額はいくらでしたか。あなたご自身だけでなく、世帯全体の購入額でお答え下さい。 (画像：【対象商品説明】を挿入)	・分からない ・購入していない（0円） ・～4,000円 ・～8,000円 ・～12,000円 ・～24,000円
37	2021年の1年間（2021年1月～2021年12月）に、あなたご自身が、以下の症状を経験しましたか。また、経験した症状に、どのような対処をしましたか。	(症状の分類) 頭痛 生理痛 腰痛・関節痛・肩こり 風邪の諸症状：熱・頭痛、咳や痰が出る、喉の痛みなど アレルギーの諸症状：鼻づまり・鼻汁、くしゃみなど アレルギーの諸症状：目のかゆみ、充血、腫れなど 胃の痛み、胃酸過多、胃もたれ・胃のむかつき・胸やけ、消化不良など 下痢・便秘 皮膚のかゆみ（湿疹・発疹） 疲れ・だるさ・倦怠感 目の疲れ、目のかすみ、目の乾き 血圧が高め 頻尿（尿が出る回数が多い）、尿もれ、尿が出にくいなど 眠れない 膣カンジダ ワクチン接種後に生じた痛み、発熱、倦怠感、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢等
37	2021年の1年間（2021年1月～2021年12月）に、あなたご自身が、以下の症状を経験しましたか。また、経験した症状に、どのような対処をしましたか。	(対応策の分類) 病院や診療所を受診した OTC医薬品（市販薬）を服用・使用した 健康食品・サプリメントを服用・使用した 食事、運動、睡眠などの生活習慣に気をつけるようにした 休養を取った 上記以外の方法で対処した 何も対処しなかった 上記の症状はこの1年間に経験しなかった
38	あなたとあなたの配偶者は、扶養家族（同じ健康保険に加入する）の関係にありますか？ ※同一世帯での対象医薬品の年間購入額が12,000円以上の場合、セルフメディケーション税制の利用が可能になります。	扶養家族である（あなたの保険に、配偶者の方が被扶養者として加入している） 扶養家族である（配偶者の方の保険に、あなたが被扶養者として加入している） 扶養家族ではなく、別々の保険に加入している 配偶者はいない

図2-1 セルメ税制・医療費控除の認知度

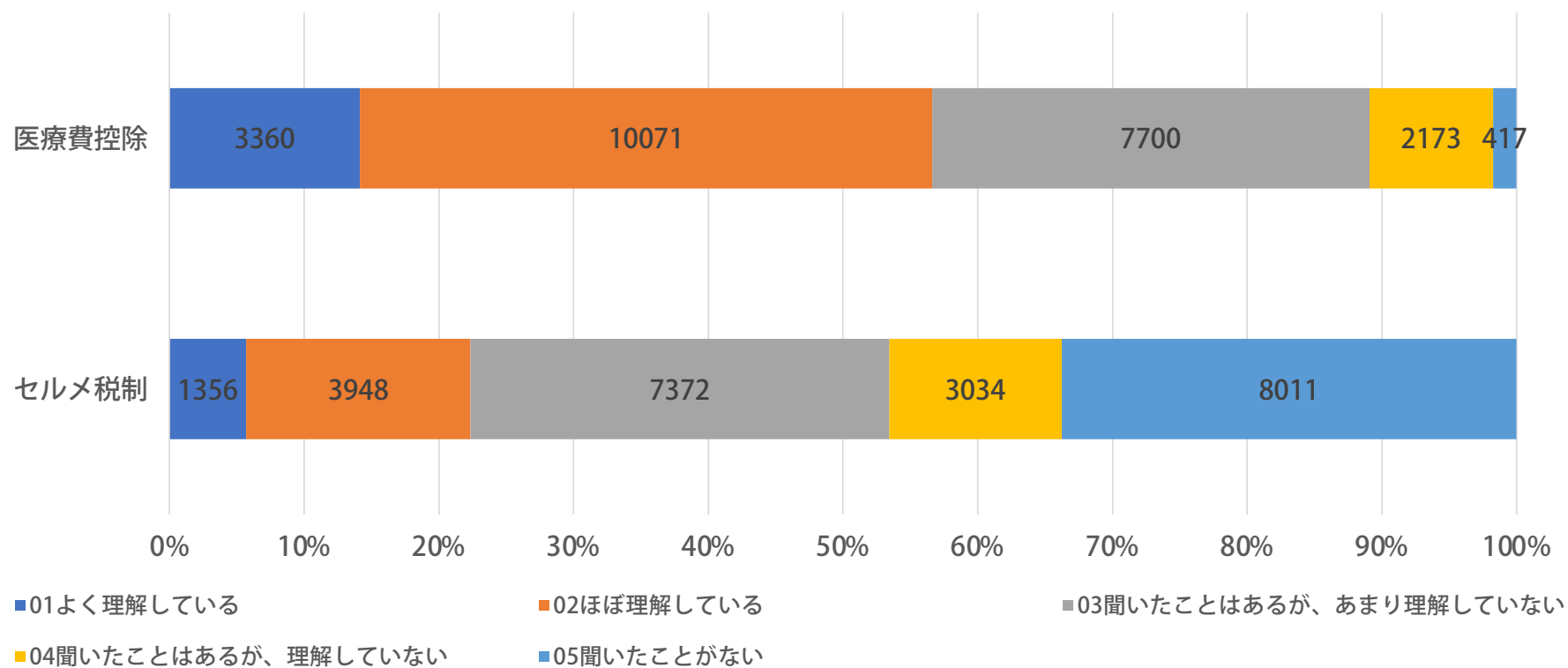


図2-2 セルメ税制認知度・医療費控除認知度の関係

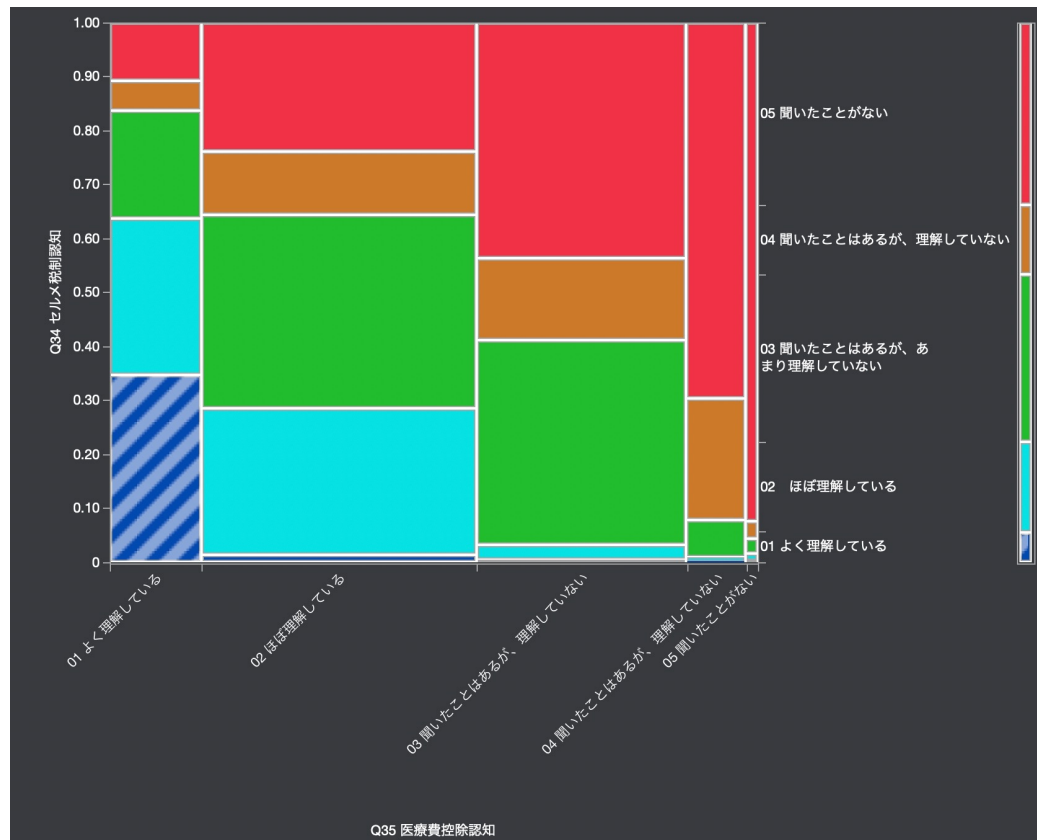


図2-3 制度の利用 (確定申告・医療費控除・セルメ税制)

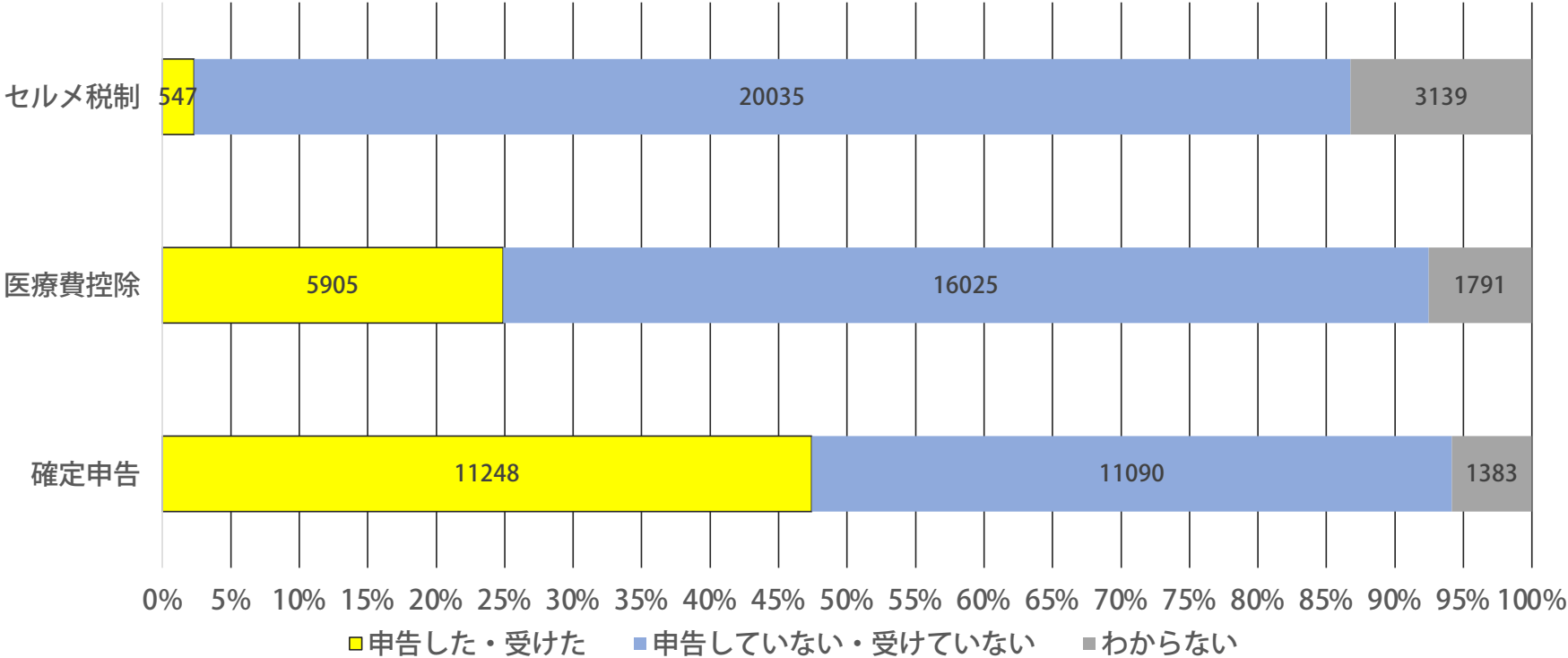
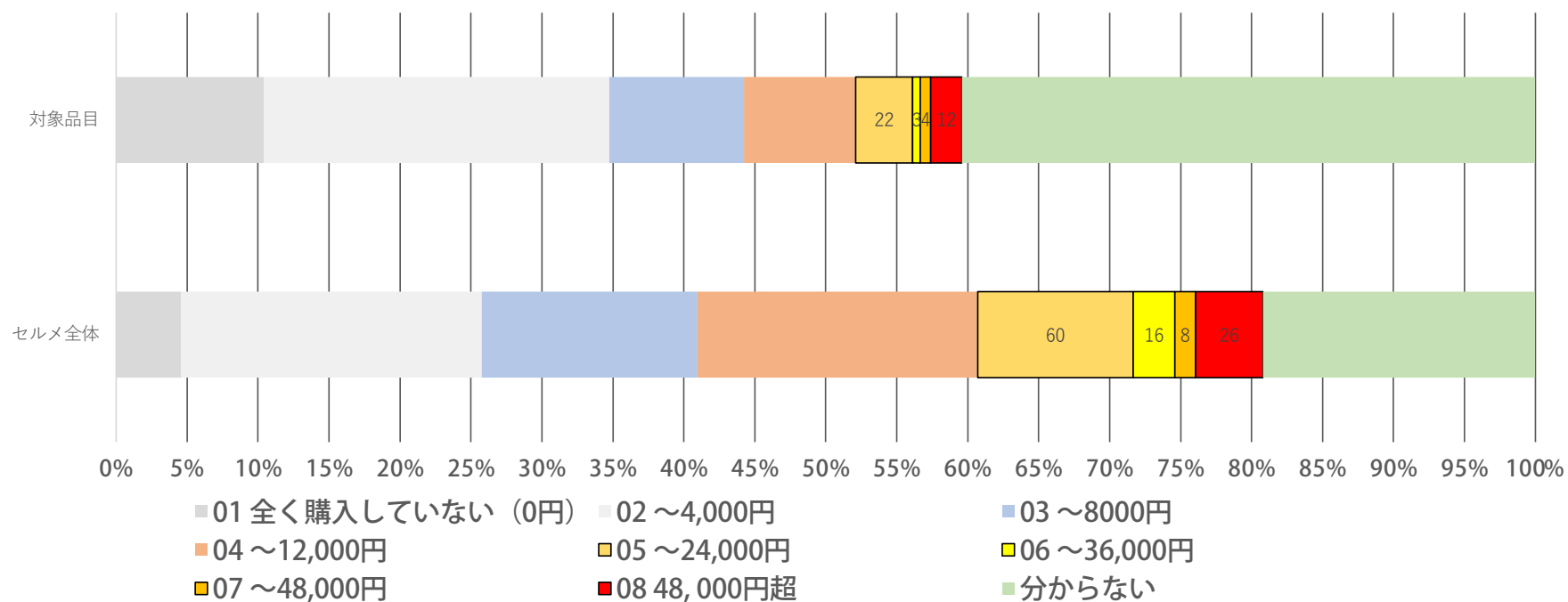


図2-5 セルメ税制「利用あり」547人の利用金額

グラフ タイトル



別紙4

研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト（参考）

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
五十嵐中	OTC医薬品の潜在的価値は？	日本OTC医薬品協会	セルフメディケーションの日シンポジウム2020 報告書	日本OTC医薬品協会	東京	2021	6-11

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
五十嵐中	多様な視点で「医療の価値」を評価：高額薬剤やコロナ禍の影響で医療資源の有限性を再認識：医薬品等の保険給付範囲見直しに向けて	週刊社会保障	75 (3131)	40-1	2021
五十嵐中, 中野陽介, 廣實万里子	続:一般生活者が考える薬の価値と受診等のあり方：疾患有無等の属性による比較	政策研ニュース	63	23-9	2021

厚生労働大臣 殿

機関名 横浜市立大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 相原 道子

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 厚生労働科学特別研究事業
2. 研究課題名 セルフメディケーション税制による医療費適正化効果についての研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学群 (健康社会医学ユニット)・准教授
(氏名・フリガナ) 五十嵐 中・イガラシ アタル

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
 (国立医薬品食品衛生研究所長)殿
 (国立保健医療科学院長)――

機関名 慶應義塾大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 伊藤 公平

次の職員の(令和3)年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 厚生労働科学特別研究事業
2. 研究課題名 セルフメディケーション税制による医療費適正化効果についての研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 大学院経営管理研究科・教授
 (氏名・フリガナ) 後藤 励・ゴトウ レイ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
 ・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2022年 3月 31日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)—殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 慶應義塾大学

所属研究機関長 職名 理事長

氏名 伊藤 公平

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 厚生労働科学特別研究事業
- 研究課題名 セルフメディケーション税制による医療費適正化効果についての研究
- 研究者名 (所属部署・職名) 経済学部・教授
(氏名・フリガナ) 井深 陽子 ・ イブカ ヨウコ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (無の場合はその理由: 特段その必要性を認めない)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和4年3月31日

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿~~
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 国立大学法人東京大学

所属研究機関長 職名 総長

氏名 藤井 輝夫

次の職員の令和3年度厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 厚生労働科学特別研究事業
2. 研究課題名 セルフメディケーション税制による医療費適正化効果についての研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 大学院経済学研究科・准教授
(氏名・フリガナ) 別所 俊一郎・ベッショ シュンイチロウ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和4年2月7日

厚生労働大臣
（国立医薬品食品衛生研究所長）殿
（国立保健医療科学院長）

機関名 花園大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 磯田 文雄

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 厚生労働科学特別研究事業
2. 研究課題名 セルフメディケーション税制による医療費適正化効果についての研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 社会福祉学部・教授
(氏名・フリガナ) 和田一郎・ワダイチロウ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (無の場合はその理由: 該当する研究ではないため)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。